

I 教育目標		
◎学びつづける子	○みとめ合う子	○たくましい子○

II 経営方針	
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ○児童一人一人が目標をもち、前向きにチャレンジできる学校 ○教職員が協働し、現状と正対しながら目指す教育活動の実現に向かう学校 ○保護者・地域との信頼関係を基盤に、教育活動を展開する学校
目指す児童像	<ul style="list-style-type: none"> ◎学びつづける子 生涯にわたって学ぶ意欲をもち、生きる力の基となる考える力を伸ばす子 ○みとめ合う子 自分も相手も大切にし、思いやりのある豊かな心をもつ子 ○たくましい子 健康な体と心をつくり、生き生きとやり抜く子
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○児童一人一人の「今」「ここ」を受け止め、かがやく「未来」へ導く教師 ○研究・修養を怠らず、挑戦を続ける教師 ○保護者・地域と連携し、ともに歩む教師
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> ○「今」「ここ」から「未来」へ 自分の「今」、学級の「今」、学校の「今」、家庭の「今」…自分を取り巻く「今」と正対し、認め、受け入れること。そして「今」「ここ」から、かがやく「未来」を描き、前向きに目指していくこと。「健康」「安全」「成長」を軸に、児童も、教職員も、保護者も、地域も、「今」「ここ」から教育目標の実現を目指す。 ○学べる学級、学べる学年、学べる学校をつくり、学べる子供を育てる 学校生活の主役は、児童一人一人であることを念頭に、子供が主体となり、日常のあらゆる出来事から学び、自分らしくのびのびと成長していくことのできる学校生活の実現を目指す。

Ⅲ 経営目標

重点領域 1・成長		学び手としての成長・集団としての成長	
中期経営目標		適切な目標設定および目標に向かうプロセスに目を向けた振り返り・改善ができる児童を育成する。	
短期経営目標		○学習規律の確立と、マナーの向上 ○自分の学習状況と正対し、前向きに取り組もうとする態度の育成 ○学び合う力・コミュニケーション能力の育成	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	○個の学習が保証される環境づくりに対する児童の意識を高めながら、東京ベーシック・ドリルを活用した指導を継続的に実施し、基礎基本の定着度80%を目指す。	●東京ベーシック・ドリル診断シートの平均正答率を80%以上にする。	
2	○ICTの活用や指導員、支援員の柔軟な配置、体験的な活動を重視した授業に力を入れ、一人一人が目標をもって主体的に取り組むことのできる授業を実現する。	●学習意欲に関する自己評価において、肯定的評価の割合を90%以上にする。	
3	○校内研究において「対話」の充実を取り上げ、多様な場面で学びにつながる対話の経験を積み上げるにより、学べる学級づくりを目指す。	●友達との交流による学びの成果に関する項目（学校生活アンケート）において、肯定的評価の割合を90%以上にする。	

重点領域 2・安全		生活の安全・学びの安全	
中期経営目標		人的、物理的環境への取組による安全な学校の確立	
短期経営目標		○人権教育・道徳教育の推進 ○いじめ等への適切な対応 ○互いの個性を生かせる、児童主体の集団づくり	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	○教職員の「教育環境」としての意識を高め、あらゆる教育活動において、人権教育、道徳教育を根底に置くことで、児童の思いやりの心を体験的に育む。	●「子どもたちに思いやりの心が育っている」（保護者アンケート）において、肯定的評価の割合を90%以上にする。	
2	○いじめ等に関するアンケートや個別面談の実施、スクールカウンセラー等との連携を通して、いじめ等の未然防止と早期発見に努める。	●「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」（学校生活アンケート）において、肯定的評価の割合を100%にする。	
3	○学級、学年、特別活動等での集団の場で、よりよい人との関わりについて体験的に学ぶことで、児童同士が認め合いながら、集団の中で個性を生かしていけるようにする。	●学校生活アンケートにおいて「学校は楽しい」の項目に対する肯定的評価の割合を90%以上にする。	

重点領域 3・健康		心身の健康
中期経営目標	食事、運動、休養を通し、健康な心と体を自ら作り上げようとする態度の育成	
短期経営目標	○基本的な生活習慣に対する意識の向上 ○体力・運動能力の向上に取り組む態度の育成 ○好き嫌いを減らし、食を楽しもうとする心の育成	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	○校長および全教員による、登校時の校門での受け入れを軸に、「元気な登校」「元気な挨拶」の見守り・指導を継続する。いつでもどこでも挨拶ができるようにする。	●「あいさつがきちんとできる」（学校生活アンケート）において、肯定的評価の割合を90%以上にする。
2	○体育の授業や外遊びの励行、長チャレやなわとび等の取り組みを通して、すすんで運動しようとする態度を育てる。 ○「体カスタンダード」に基づいた指導や体カテストの結果を活用した指導を行い、体力等の向上を目指す。	●「体を動かす遊びや運動をしている」（学校生活アンケート）において、肯定的評価の割合を80%以上にする。 ●体カテストの平均値が全国の平均値と同程度になることを目指す。
3	○栄養士との連携、献立などに関するホームページ発信、学級での給食指導により、健康と食とのつながりを意識させる。	●「好き嫌いが無い・好き嫌いを減らそうとしている」（学校生活アンケート）において、肯定的評価の割合を90%以上にする。

重点領域 4・発信と共有		保護者・地域への発信と現状の共有
中期経営目標	学校・家庭・地域がビジョンを共有し、協働して子どもを育てる学校づくり	
短期経営目標	○学校経営方針・教育理念の提示 ○計画的・継続的な教育活動の情報発信 ○教職員の服務規律の徹底と信頼の構築	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	○学校の方針・理念、教育活動のベースとなる考え方を、実態と状況に応じて随時更新しながら、校内外で共有する。 ○ホームページ等により、原則毎日、学校生活の「今」「ここ」を発信する。	●情報発信に関する保護者アンケートにおいて、肯定的評価の割合を80%以上にする。
2	○服務事故防止研修や教員間の連携・信頼関係の構築に取り組み、体罰や不適切な指導、個人情報への不適切な取扱い等の服務事故の根絶を目指す。	●体罰や不適切な指導、個人情報の不適切な取扱いゼロを目指す。